

健やかな成長を願う 親の気持ち

親になって一番最初に願うことは、我が子が病気をせずに健やかに育って欲しいということ。そのためには、身の回りの世話をすることはもちろん、親としてできるだけのことをしてあげたい。

予防接種も親から子への愛情ではないだろうか。

健やかな成長を願う

我が家に子どもが誕生した時の喜びは何にもかえ難い。そして初めて抱っこし温もりを感じた時、親としての自覚が芽生え、こう思う。「この子が大きくなるまでは、何があっても自分たちで守るんだ」と。そんな親の愛情を一身に受けて、子どもは成長していく。

予防接種は我が子の健やかな成長を願う親の愛情の一つであり、子どもを病気から守ることにつながります。

子ども（赤ちゃん）の抵抗力（免疫）

赤ちゃんは、母親の胎内にいる時は胎盤を通して、ウイルス感染に対する抵抗力（免疫）を母親からもらっています。

産まれた後は、母親の母乳により、病気に対する抵抗力がある程度もらいますが、胎内で無菌状態で育った赤ちゃんにとって、出生直後から様々なウイルスに感染する環境にさらされることとなります。そういったリスクから守る手段として予防接種は有効なものとされています。

ママたちの気持ち



下地 典子さん（勢理客在住）

—予防接種は必要だと思いますか？

病院の先生の話や子どもに必要だと思います。上の子は、任意接種も全部受けさせています。

—身近に予防接種をあえて控えている人はいますか？

日本脳炎の副反応が問題になった事で見送っている人がいます。

—予防接種スケジュール負担軽減策は

難しいので次は何を受けるべきか聞くようにしています。上の子の時は、医師に聞いて納得した上で、一回で5種類のワクチン接種をしました。



徳嶺 ソノ子さん（勢理客在住）

—副反応についてはどうお考えですか？

子宮頸がんは話題になったこともあって少し考えていますが、他は受けさせた方がいいのかなと考えています。

—予防接種を受けさせる理由を教えてください。

病気にかった時に重症度が違うので、子どものためにも受けさせています。

—スケジュール等について

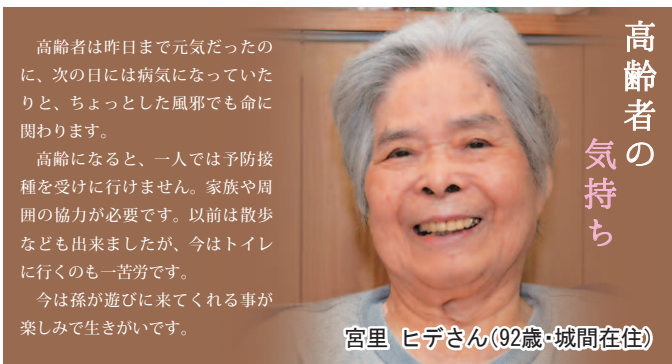
急に行けなくなった場合、日曜日でもやっている予防接種ステーションを増やしてほしいです。

「ワクチン」で防げる病気Ⅱ
VAD (Vaccine Preventable Diseases)

感染すると重症化する可能性がある病気は数多く存在しますが、これらの病気のうち、ワクチンで防げる病気をVADと言います。

重症化例を挙げると、ヒブ感染した場合、細菌性髄膜炎を起こし、脳の中に膿が溜る膿瘍や脳脊髄液が増え水頭症になることがあります。また場合によっては、後遺症が残ったり、最悪の場合は亡くなる子どももいます。細菌性髄膜炎になった症例の約6割がヒブ感染によるものだというデータもあります。

ワクチンで防げる主な病気	
【定】結核（BCG）	・B型肝炎
【定】ジフテリア・百日せき・破傷風	・ロタウイルス
【定】ポリオ	・インフルエンザ
【定】麻しん（はしか）	・A型肝炎
【定】風しん	・おたふくかぜ
【定】日本脳炎	
【定】ヒブ感染症	
【定】小児肺炎球菌	
【定】水ぼうそう	
【定】ヒトパピローマウイルス感染症	
※【定】の病気については、市町村が公費負担で予防接種を実施しています。	



高齢者の気持ち

高齢者は昨日まで元気だったのに、次の日には病気になるという、ちょっとした風邪でも命に関わります。高齢になると、一人では予防接種を受けに行けません。家族や周囲の協力が必要です。以前は散歩なども出来ましたが、今はトイレに行くのも一苦労です。今は孫が遊びに来てくれる事が楽しみで生きがいです。

宮里 ヒデさん(92歳・城間在住)

加齢と共に低下する免疫力

免疫力は20代、30代にピークを迎え、40代以降は加齢とともに低下していくそうです。

それだけ感染症などの病気にかかるリスクが高まるので、高齢になればなるほど病気や感染症になりやすくなり、高齢者にとっては、ちょっとした病気でも命に関わる危険があるのです。

インフルエンザによる高齢者の死亡率1.24人（当たり10万人）

欧米では1980年代にワクチンが開発され、子どもたちにワクチン接種をすることで、ヒブによる細菌性髄膜炎が99%減少したそうです。日本では、それから20年近く遅れて、2013年から定期接種化されています。ヒブをはじめとして、VADは色々な積み重ねがあって、定期接種化され、また任意接種などのワクチンについても接種が推奨されているのです。

先日新聞に、沖縄県におけるインフルエンザの高齢者の死亡率が全国に比べて高いという結果が掲載されました。死亡率が高い原因は不明とのことですが、ワクチン未接種者が多いという現状もあるようです。そういったリスクから身を守るために、流行前のワクチン接種が有効であることが確認されています。

家族や周囲の協力

現代社会においては、核家族化が進み、家族がそれぞれで生活するスタイルが一般的となっています。そのため高齢者が1人で生活している場合も少なくありません。

宮里さんが言うように、高齢者は免疫力だけでなく、体力や筋力が衰え、自分一人では出来ない事が増えます。

親から子への愛情があるように、子から親への愛情もあります。両親や祖父母の所に遊びに行った時に「予防接種受けた？」と声をかける、それも愛情であり思いやりです。それが高齢者の感染症や重症化を防ぐためには重要であり、健康で幸せな生活を送ることにつながります。